

マルチペイメントネットワークの 導入イメージ例について

(収納企業向け)



平成21年

日本マルチペイメントネットワーク推進協議会

日本マルチペイメントネットワーク運営機構

目次

・本書の目的	2
1. 共同利用センタを用いたサービス導入について	
1. 1 収納業務の現状について	4
1. 2 共同利用センタによるサービスのイメージ	6
2. iDCを利用したサービス導入について	
2. 1 収納企業(公共料金等)におけるシステム構成の現状	11
2. 2 iDCへのサービス導入について	12
2. 3 システム構成について	13
3. その他の事例について	
3. 1 請求情報電子化の利用事例	17
3. 2 ATMにおける後払い事例	18
3. 3 任意支払い事例	19

各収納企業における現状の収納スキームをベースに、より容易にマルチペイメントネットワークの導入が可能となる仕組みのイメージを紹介します。

[対象とする収納企業]

主な対象とする収納企業	概要
<ul style="list-style-type: none">・収納業務のアウトソーシングを実施、検討している企業・収納代行事業者	第1章 : 共同利用センターを用いたサービス導入について
請求書の電子提示にニーズがある企業	第2章 : iDCを利用したサービス導入について 第3章 : その他の事例について

1. 共同利用センターを用いたサービス導入について

1.1 収納業務の現状について

現在、収納企業は、様々な方法により収納業務(請求書等による収納)を行なっています。

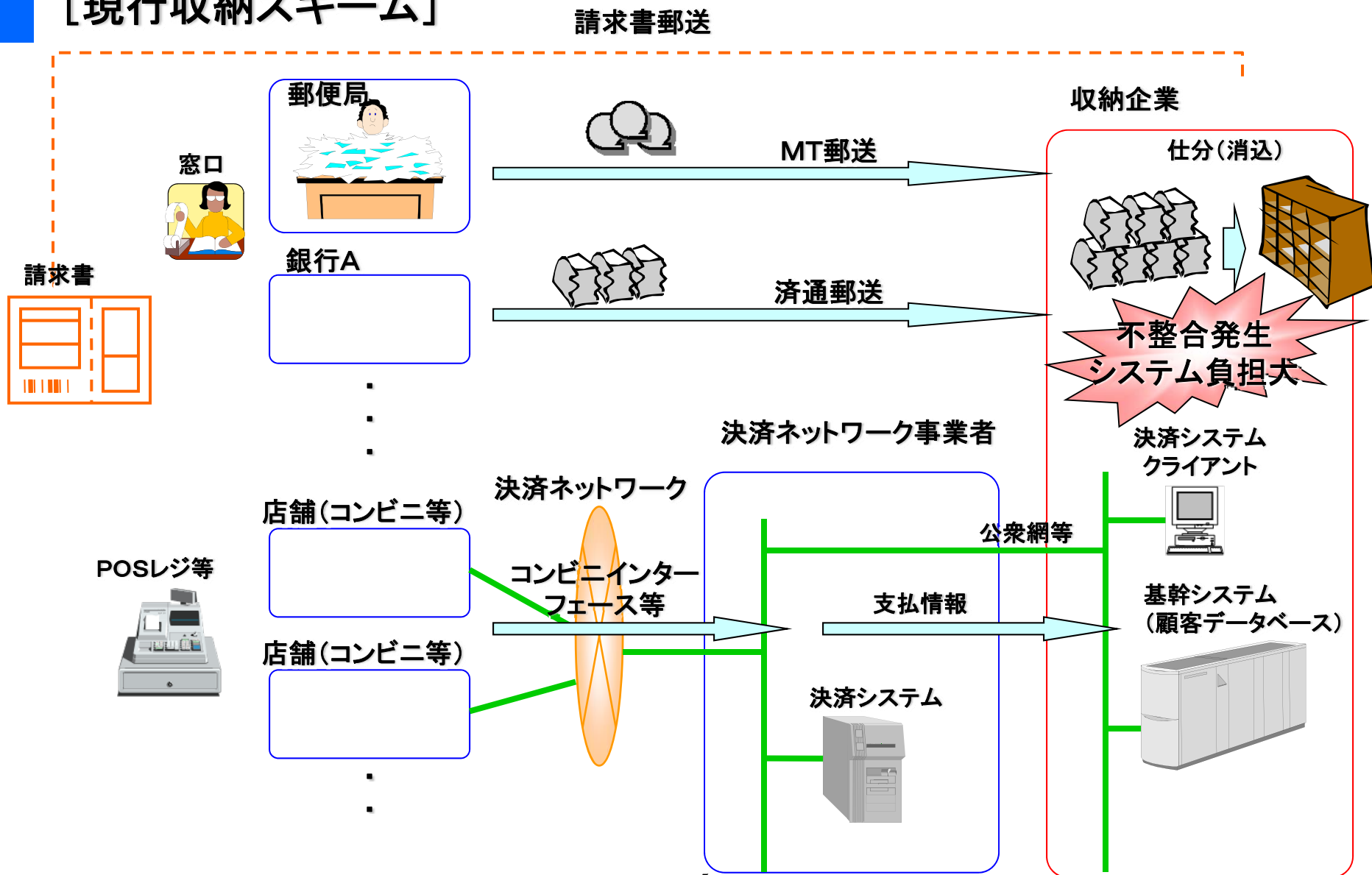
- ①金融機関窓口からの収納(済通もしくはMTにより通知)
- ②コンビニエンスストアからの収納(バーコード情報の通知) 等

このため、以下のような懸案事項が発生しています。

現状収納業務の懸案事項

- ・複数の異なる支払チャネルに対応する必要があるため、各システムの運用・維持負担が大きい。
- ・チャネル毎に支払状況の不整合が発生する可能性がある(二重支払など)。
- ・各顧客の支払状況をリアルタイムで把握できない。

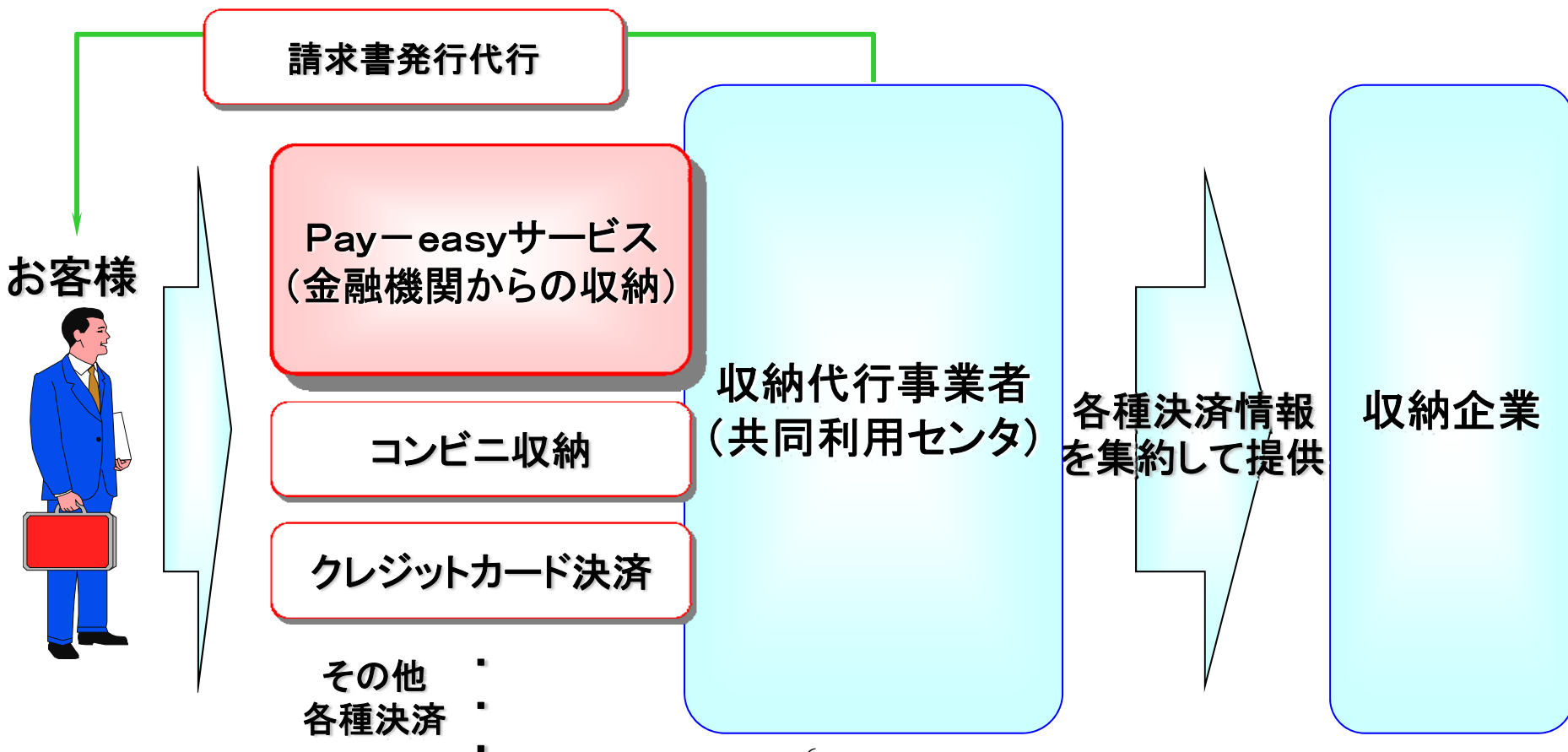
[現行収納スキーム]



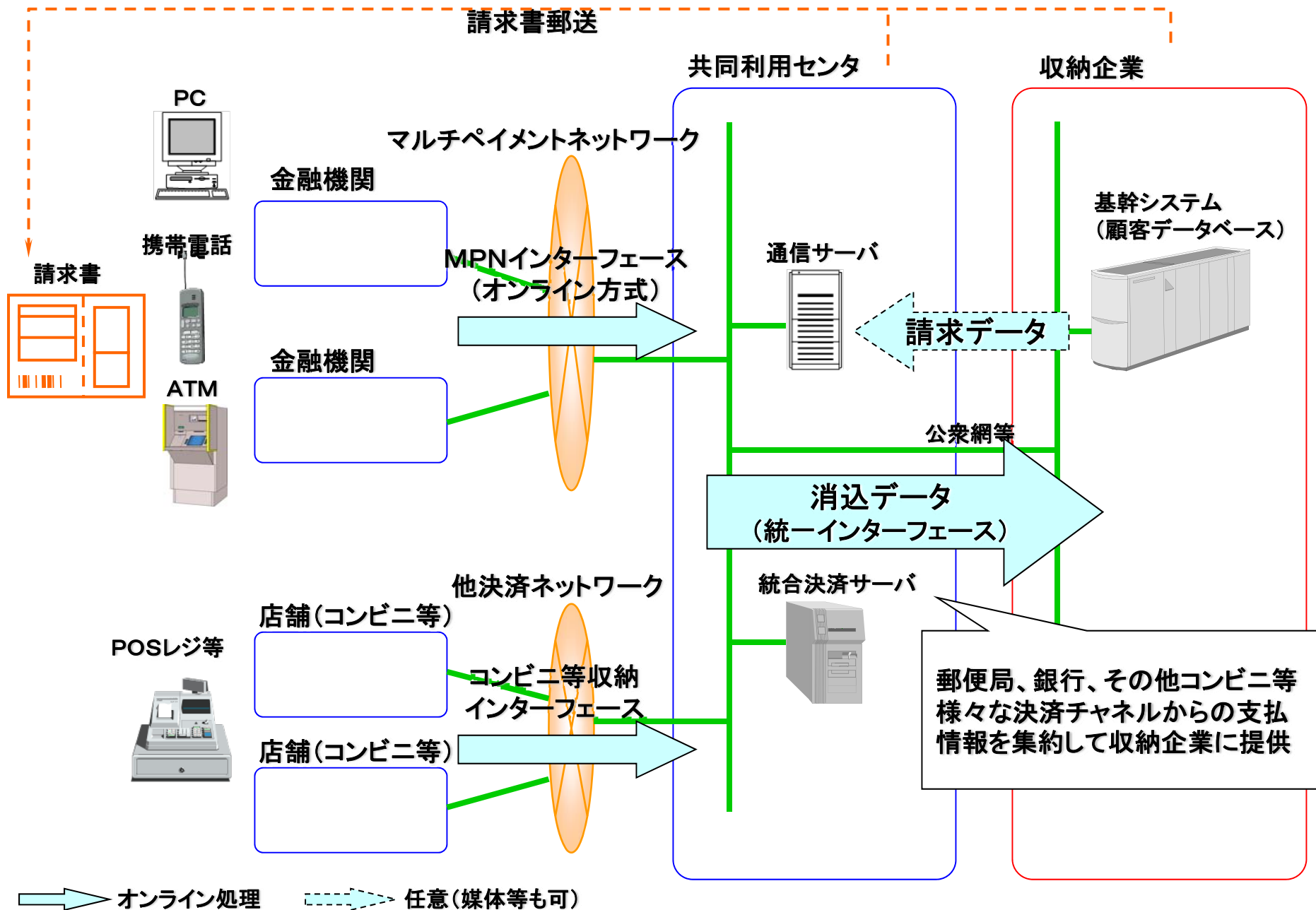
1.2 共同利用センターによるサービスのイメージ

現在、収納企業は、コンビニ等による収納、その他決済手段を提供する収納代行事業者を利用している場合が多数であると想定されます。

この現行の収納代行事業者が、マルチペイメントネットワークへの接続機能を提供することにより、収納企業におけるサービス導入がより簡易に可能となると想定されます。



[共同利用センタシステム構成概要]



[共同利用センタにおける各種データの取り扱い]

共同利用センタ

収納企業

マルチペイメント
ネットワーク

照会処理

消込処理

他決済ネットワーク

支払情報

全チャネルからの支払
情報を一括して消込

請求データ
(随時)

消込 請求情報データベース

お客様番号	請求金額	支払先
11111	12,300円	
22222	23,400円	〇〇銀行
33333	34,500円	◇◇コンビニ

基幹データベース

お客様番号	請求金額	支払先
11111	12,300円	
22222	23,400円	〇〇銀行
33333	34,500円	◇◇コンビニ

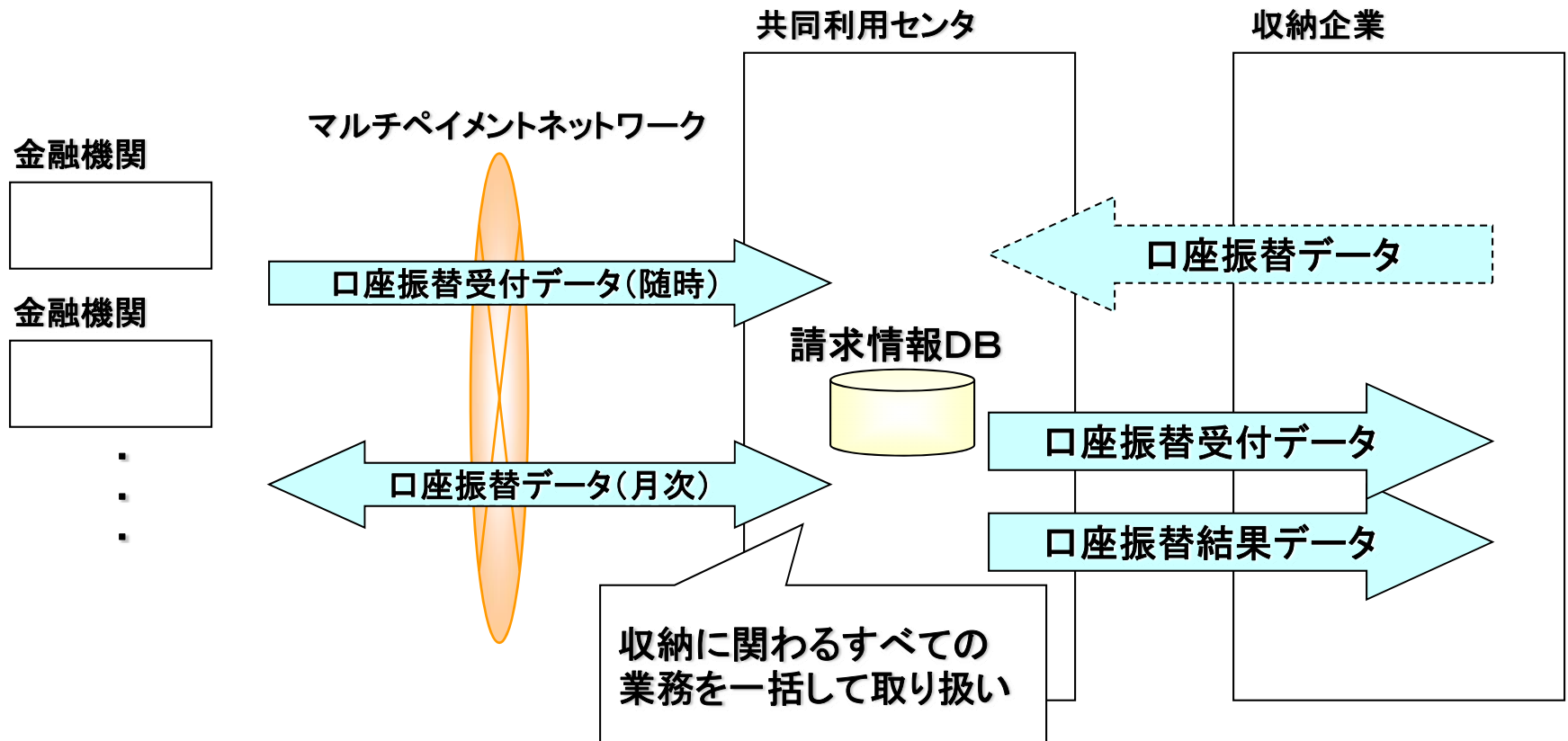
支払データ

様々な決済チャネルからの支払
情報を集約して収納企業に提供

[マルチペイメントネットワーク他サービスへの展開]

この共同利用センタを用いることにより、マルチペイメントネットワークが提供する他サービスへの展開も可能となると想定されます。

- ・口座振替受付サービス(金融機関受付方式)
- ・口座振替データ伝送サービス

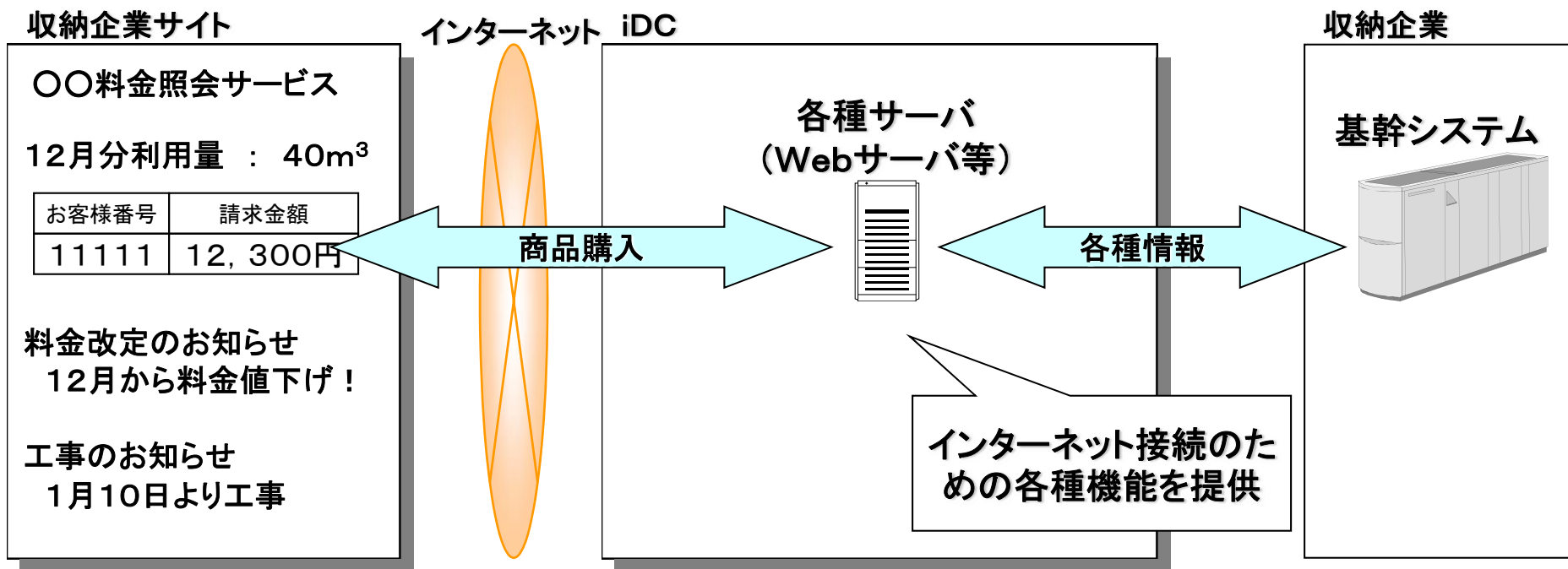


2. iDCを利用したサービス導入について

2.1 収納企業(公共料金等)におけるシステム構成の現状

インターネット上において公共料金等の請求情報の提示を行う収納企業があります。

この収納企業サイトにおける各種インフラ(Webサーバ等)、サービスメニュー(決済機能)は、インターネットデータセンタ(iDC)が提供している場合が多数であると想定されます。



2.2 iDCへのサービス導入について

インターネットに関する各種サービスを提供するiDCが、マルチペイメントネットワークを導入することにより、各種収納企業サイトに対し、Pay-easyサービス(情報リンク方式)を提供することが可能となります。

iDCが提供する機能

- ・データベース機能
- ・メール機能
- ・CGI機能(Perl等)
- ・セキュリティ機能(SSL等)
- ・その他通常のホームページ機能(掲示板、アクセスカウンタ等)

・Pay-easyサービス

マルチペイメントネットワーク

- ・共通ソフト
- ・通信サーバ
- ・マルチペイメントネットワーク接続回線 等

マルチペイメントネットワーク
基本インフラをiDCが導入

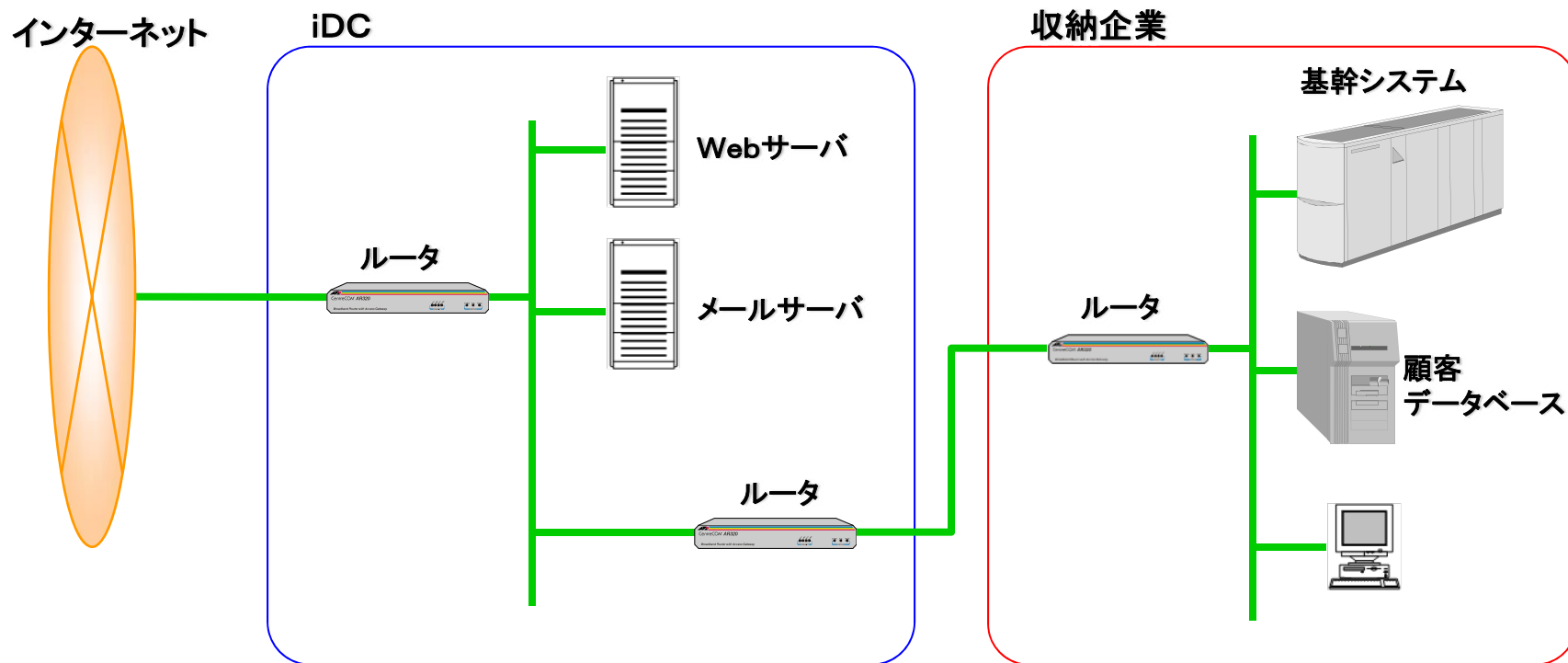
請求情報の照会に加えて
支払も可能に！

2.3 システム構成について

現状のiDCと収納企業サイトにおけるシステム構成とマルチペイメントネットワークサービス導入後のシステム構成についてそれぞれ示します。

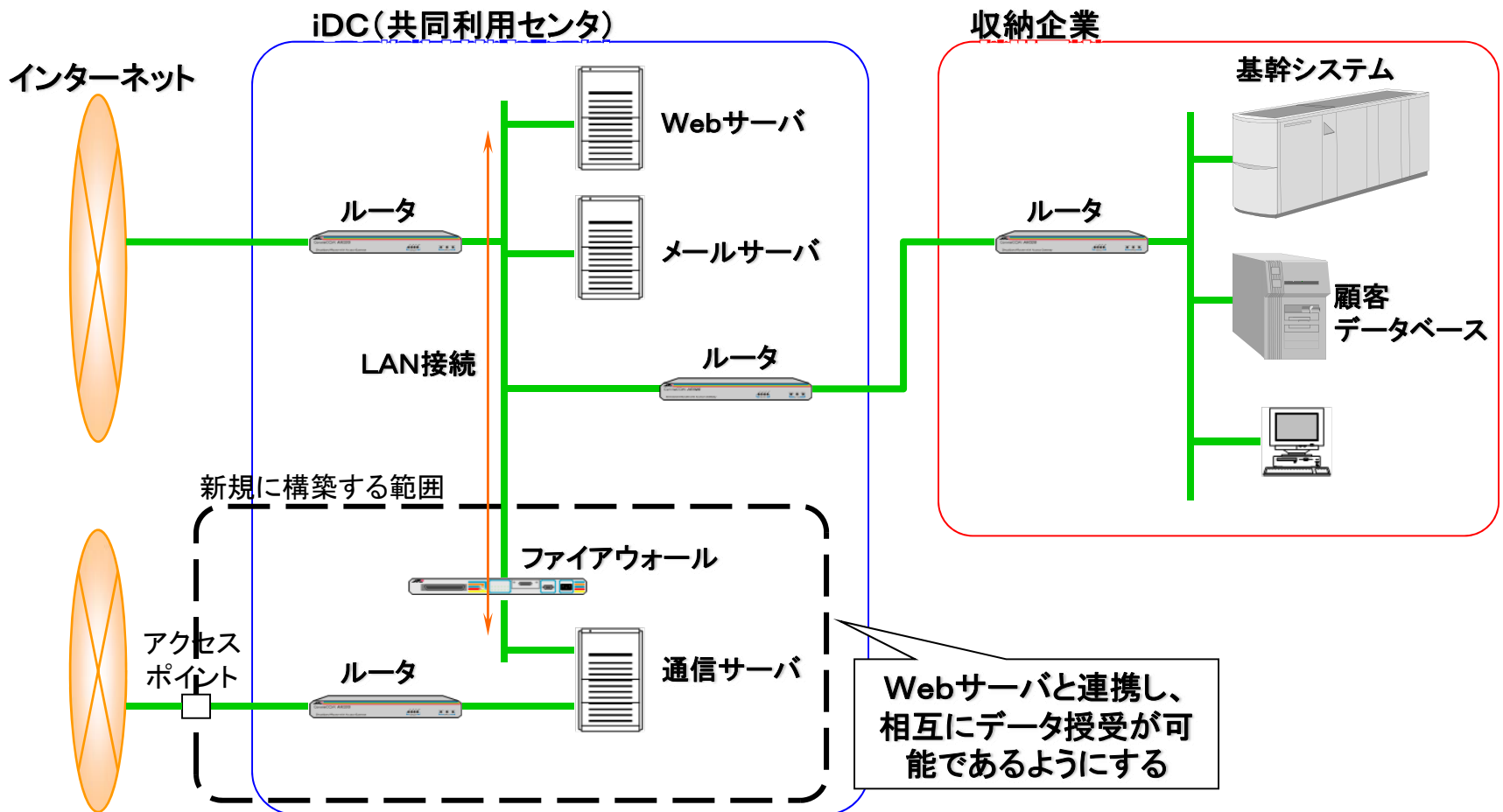
(1) 現状のiDCシステム構成

iDCは、収納企業サイトが必要とする各種アプリケーションサーバ(Webサーバ、メールサーバ等)、大容量の回線環境、運用要員等の提供を行なっています。



(2) マルチペイメントネットワーク対応iDCシステム構成

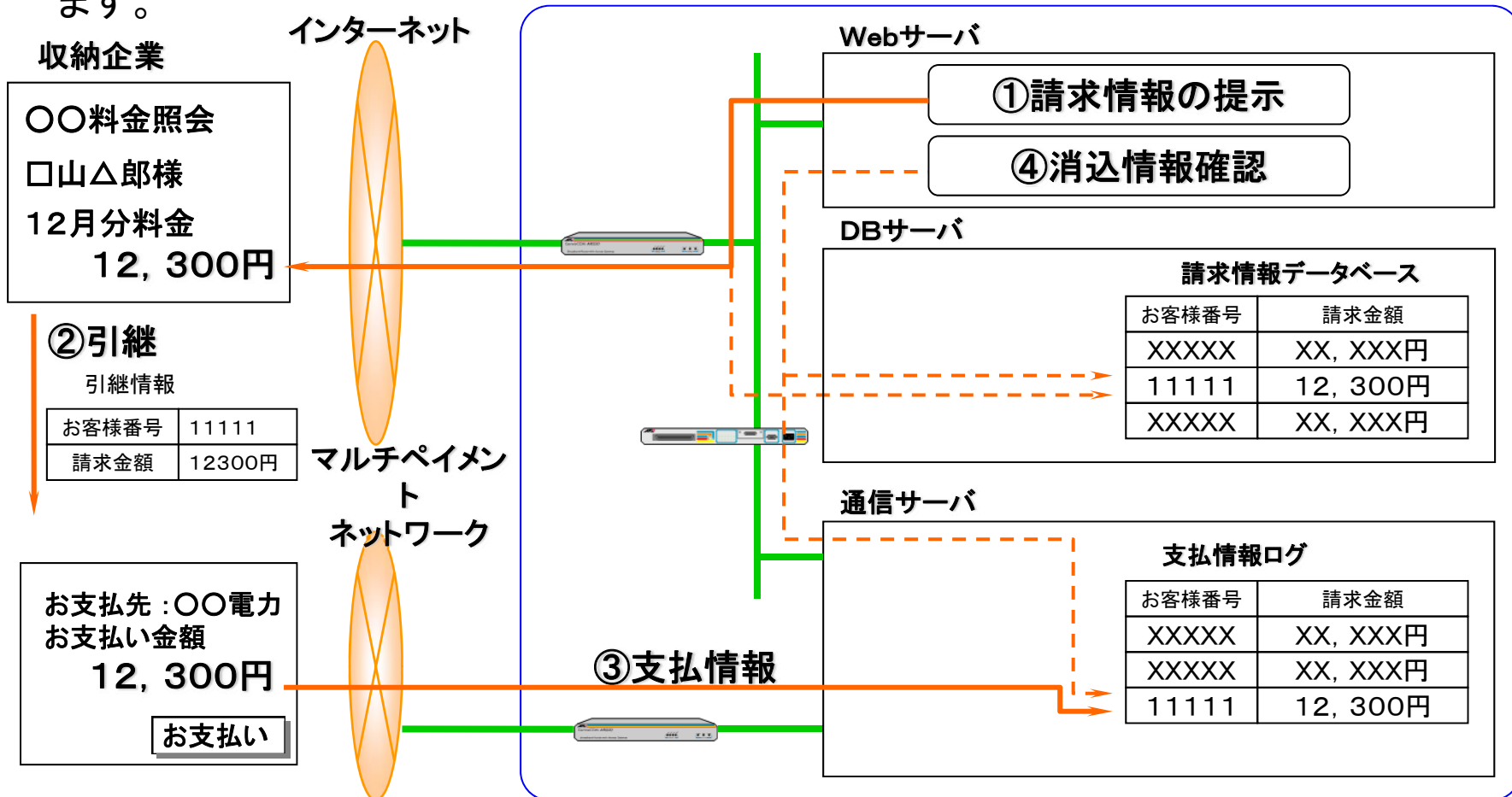
各種のアプリケーションサーバ(Webサーバ、メールサーバ)機能の提供と同様に、マルチペイメントネットワークへの接続機能を持つ通信サーバを設置します。各サーバをLAN接続し、相互にデータの授受が可能であるようにします。



(3) 通信サーバ/iDCサービス概要

通信サーバには、マルチペイメントネットワークを通じて金融機関において支払が行なわれた旨の情報が通知されます。

Webサーバとの連携を行うことにより、即時に支払情報を確認することが可能となります。



3. その他の導入事例について

3. 1 請求情報の電子化の利用例

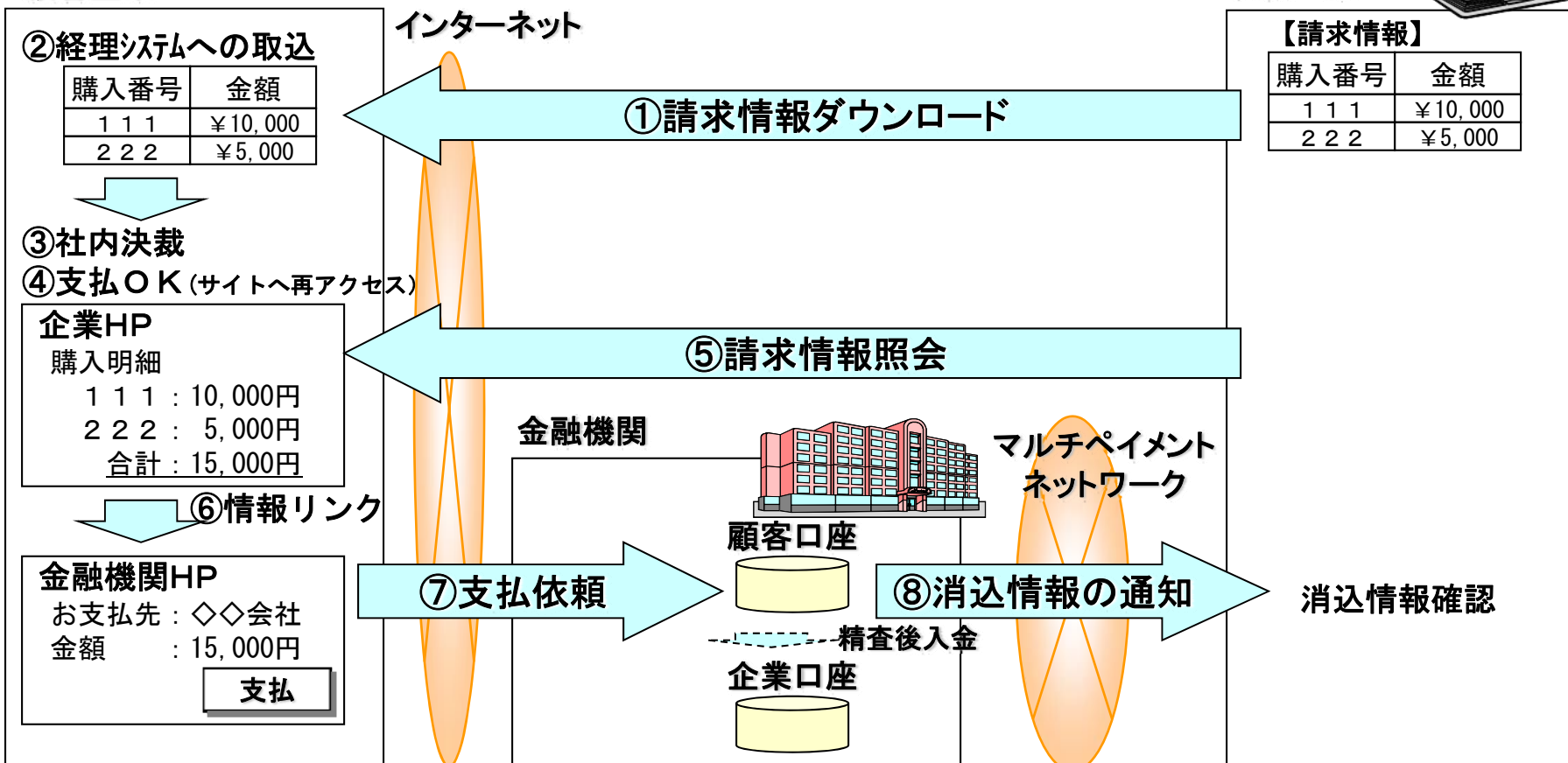
・主に顧客企業向けに多数の請求書を発行している収納企業が提供する。
 利用者となる企業は、収納企業サイトから請求情報をダウンロードし、社内決裁、Pay-easyサービスにより支払を行う。

・適用対象

公共料金、オフィス用品販売、宅配便等

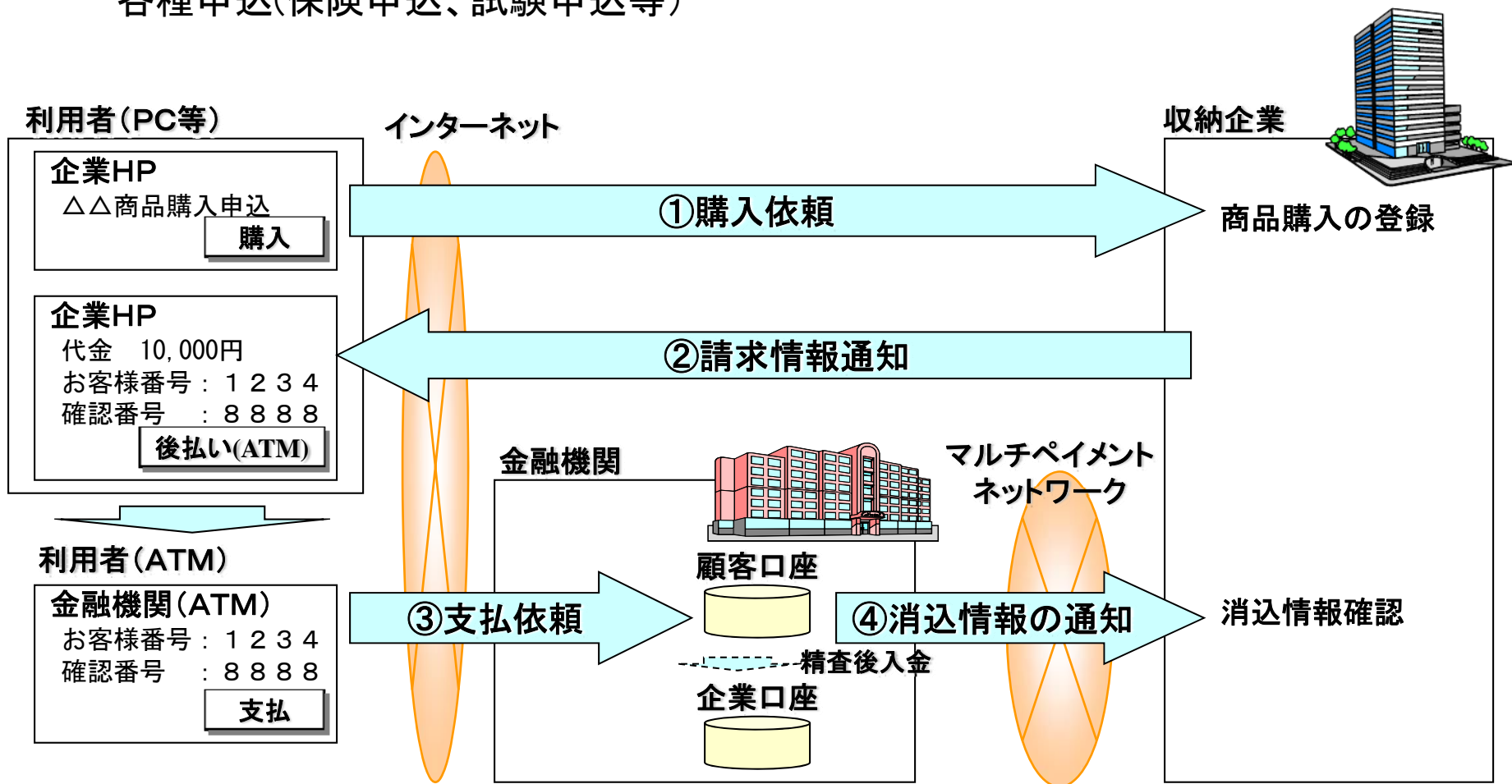
顧客企業

収納企業



3.2 ATMにおける後払い例

- 商品購入等を行い、代金等については後日ATMから支払う場合に用いる。
- 適用対象
 - 商品販売(カタログショッピング、チケット販売等)
 - 各種申込(保険申込、試験申込等)



3.3 利用者が任意の金額を指定して支払を行う場合の利用例

・クレジットカード等の返済額をWEBで確認後、Pay-easyサービスにより支払を行う場合等に用いる。

支払金額は任意の金額を入力することができる。

・適用対象

クレジットカードの返済、その他任意の金額を支払う事業

